**にいがた協同ネット２０２０年度　第8回運営委員会議事録**

1. **開催日時：2021年3月22日（月）15：00～16：50**
2. **開催会場：新潟市西区　ささえあい生協会議室（Web会議）**
3. **参加者：別紙、参加者名簿の通り**

　　江花共同代表より、労協法が出来た事で全国では都道府県レベルで集会が開催されている。JA新潟中央会の了解を得て新潟県提携協の後援も得ることができた。行政や議員の参加も見込めることから現時点における情報提供の内容や、齋藤幸平氏の参加で全国からの注目も高くしっかりとした組み立てを検討する必要がある旨の挨拶の後、高見副代表の進行で開会した。**議事**

1. **当面の取り組みについて**

＜全国の動向＞

・齋藤本部長より、全国の動向について別紙資料に基づき説明があった。

この中で、枡谷議員から協同労働を応援する議員連盟の動きがある。また、自治体においても労働者協同組合の活用も選択肢の一つとして対応を検討しているとの答弁を得ている。

　　　　＜県内の動き＞

　　　・新潟市議会で労働者協同組合法についての代表質問あり（公明党小山議員）

　　　・県提携協の後援決定（JA中央会高橋専務）

　　　・新潟県しごと定住課へ参加要請実施

　　　・県議会各党会派及び自治労並びに自治研へ参加要請実施

　　　・県内全市町村宛趣意書とチラシを郵送

1. **協同集会開催について**

　・集会の時間が3時間とってあるが、議員挨拶を削り対談に時間を使ってはどうか。

・対談で何を聞きたいのか、協同ネットとして内容を検討する必要があるのではないか。

　・多様な人に参加を呼び掛けており的を絞るのが厳しい。

　・協同労働の何に期待するのか、資本主義と違うコモンと地域の在り方について

　・地方における持続可能性の中で協同労働をどう考えるか

　・コモンの担い手としてワーカーズが主体的な仕事おこしを行うことが大事だ

　・集会後の対応として問い合わせ先を明確にした方が良い

　・議員の参加が見込めているが、議員に何をやらせるのか。また、県、市の事務局の参加はありそうなのか

　　　・新潟県及び新潟市の担当部署に事務局でチラシを持参し参加を呼び掛けた

1. **情報交換**

　・3月26日にWeb座談会が開催される

「東北復興10年の歩みとコロナ禍における協同労働の可能性」

　　　・自然農法「種の問題‥‥種は誰のもの」5月2日開催

1. **その他**

次回運営委員会の日程については、4月26日（月）に開催することとした。

以上（文責:中村）